

安全データシート（SDS）

作成：2016年12月8日（改訂1版）

1. 製品及び会社情報

製品の名称：ステンレス鋼、耐熱鋼

〔Pb添加を除く〕

会社名：大同特殊鋼株式会社

住所：名古屋市東区東桜一丁目1番10号

担当部門：技術企画部 品質保証室

電話番号：052-963-7511

FAX番号：052-963-4386

緊急連絡先及び電話番号： 同上

2. 危険有害性の要約

GHS分類及びGHSラベル要素

【GHS分類】

<健康有害性>

危険有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
皮膚腐食性／刺激性	区分3	軽度な皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	区分2B	眼への刺激
呼吸器感作性	区分1	吸入するとアレルギー、ぜん息または呼吸困難を起こすおそれ
皮膚感作性	区分1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
生殖毒性	区分1B	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1 (呼吸器、腎臓、 消化器)	臓器の障害（呼吸器、腎臓、消化器）
	区分2 (全身毒性)	臓器の障害のおそれ（全身毒性）
	区分3 (気道刺激性)	呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1 (呼吸器、神経系)	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害

※上記に記載がない危険有害性項目は、「区分外」、「分類対象外」、または「分類できない」。

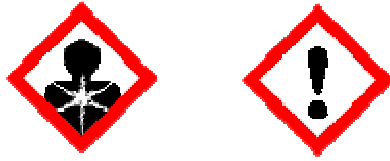
<環境有害性>

危険有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
水生環境有害性（長期間）	区分4	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

※上記に記載がない危険有害性項目は、「区分外」、「分類対象外」、または「分類できない」。

【GHSラベル要素】

<絵表示又はシンボル>



<注意喚起語>

危険

<注意書き>

安全対策

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
- ・換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。(P284)
- ・粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260、P261)
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
- ・取り扱い後はよく手や眼を洗うこと。(P264)
- ・環境への放出を避けること。(P273)

応急措置

- ・吸入した場合、被災者を空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
- ・呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡すること。(P342+P311)
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。(P312、P314)
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ・眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受けること。(P337+P313)
- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと。(P302+P352)
- ・皮膚刺激又は発しんが生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。(P332、P333+P313)
- ・ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断／手当てを受けること。(P308+P313)
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)

保管（貯蔵）

- ・施錠して保管すること。(P405)

廃棄

- ・内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報 単体/混合物の区分:混合物（合金）

《主要成分》

化学名又は一般名	濃度範囲 (%)	CAS No.	化管法(*1) 号番号	労安法(*2) 政令番号
マンガン [Mn]	0 ~ 20	7439-96-5	第一種 412	550
銅 [Cu]	0 ~ 10	7440-50-8	該当なし	379
ニッケル [Ni]	0 ~ 45	7440-02-0	第一種 308	418
クロム [Cr]	0 ~ 40	7440-47-3	第一種 87	142
モリブデン [Mo]	0 ~ 10	7439-98-7	第一種 453	603
タングステン [W]	0 ~ 3.0	7440-33-7	該当なし	337
バナジウム [V]	0 ~ 3.0	7440-62-2	該当なし	該当なし
コバルト [Co]	0 ~ 25	7440-48-4	第一種 132	172
アルミニウム [Al]	0 ~ 10	7429-90-5	該当なし	37
チタン [Ti]	0 ~ 5.0	7440-32-6	該当なし	該当なし
ニオブ [Nb]	0 ~ 3.0	7440-03-1	該当なし	該当なし
鉄 [Fe]	残	7439-89-6	該当なし	該当なし

(*1) 化学物質排出把握管理促進法 (*2) 労働安全衛生法

注1) 製品の成分濃度は、上表の濃度範囲内。詳細は検査証明書を確認してください。

注2) 上記主要成分の他に、炭素[C]、ケイ素[Si]、リン[P]、硫黄[S]、窒素[N]等の微量元素を含む。

4. 応急措置

前記「2. 危険有害性の要約」を参照のこと。

5. 火災時の措置

本製品は、一般的な環境下では固体の状態であり、周辺の火災時にも、消火器や水による消火を行なっても問題はない。

ただし、微粉や粉じんは、可燃性、爆発性を有する可能性があり、水をかけると、燃焼の助長や爆発の可能性がある。そのため、窒息効果のある消火剤（金属火災用消火器、乾燥砂など）を使用すること。

6. 漏出時の措置

本製品は、一般的な環境下では固体の状態であるため、漏出することはない。

ただし、溶接・溶断・切断・研磨などの加工により、ヒュームや粉じんが発生する場合、下記に記載する措置を実施すること。

(1) 人体に対する注意事項

適切な保護具を着用し、ヒュームや粉じんの吸入や眼への侵入を防ぐこと。

(2) 保護具及び緊急時措置

適切な呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴などの保護具を着用すること。
もし呼吸器や目など身体に異常がある場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。

(3) 環境に対する注意事項

切断・研磨などの加工により発生した粉じんなどは、速やかに回収すること。

(4) 封じ込め及び浄化の方法及び機材

切断・研磨などの加工により発生した粉じんなどは、適切な方法で速やかに回収し、回収された粉じんなどは飛散しないように適切な容器に入れるなどして、漏出防止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

<取扱い>

(1) 技術的対策

本製品を溶接・溶断・切断・研磨などの加工を行なうと、ヒュームや粉じんなどが発生する場合、必要な換気（局所排気／全体排気など）を実施すること。また、取扱者の呼吸器、皮膚、目、及び、身体を保護するため、適切な保護具を着用すること。

(2) 安全取扱い注意事項

本製品は重量物のため、転倒、荷崩れ、落下に注意すること。

本製品の切断端部や切削屑などは、「バリ」「カエリ」などにより皮膚や眼などを傷つける場合があるため、注意すること。

溶接、溶断などにともなうアークはやけどを起こす場合があるため、注意すること。

切断や研磨で生じた微粉・粉じんは、可燃性、爆発性を有する可能性があるため、注意すること。

結束および梱包フープ（バンド）の切断時に、フープの跳ね返りやフープ先端に注意すること。

コイル製品の場合、結束フープ（バンド）の切断時に、コイル先端が跳ね上がる可能性があるため、注意すること。

<保管>

(1) 安全な保管条件

水濡れ、酸、アルカリもしくはこれらを含んだ物質との接触を避けること。

高温多湿の環境を避けること。必要に応じて、雨水との接触防止および錆防止のため、シートやカバーなどで覆うこと。

切断や研磨で生じた微粉・粉じん・切屑を保管する場合、飛散ないようにカバーなどで覆うこと。

8. ばく露防止及び保護措置

一般の環境下では固体であり、ばく露防止や保護装置に関する有用な情報はない。

ただし、溶接や溶断あるいは切断や研磨等の加工の実施により、粉じんやヒュームなどが発生する場合、換気対策を実施するなどして適切な作業環境を確保すると同時に、適切な呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴などの保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

(1) 外 観： 特殊鋼鋼材（固体）

(2) 引 火 点： 一般の環境下で引火しない。

ただし、加工により生じた微粉は、可燃性、爆発性を有する可能性がある。

(3) 融 点： 1370℃ 以上

(4) 比 重： 7～9 g/cm³

(5) 溶 解 度： 水には不溶

10. 安定性及び反応性

(1) 反応性、化学的安定性、危険有害反応可能性

一般の環境下では安定している。水や酸などの化学物質と接触すると、有害なガスの発生や酸欠の原因となる可能性がある。

(2) 避けるべき条件

酸液などとの接触を避ける。

(3) 混合危険物質

酸液など。

（4）危険有害性のある分解生成物

本製品を溶接・溶断などの加工する場合に発生するヒューム中や、酸液などにより溶けだした溶液中に有害な化合物が含まれる可能性がある。

1 1. 有害性情報

前記「2. 危険有害性の要約」を参照のこと。

1 2. 環境影響情報

前記「2. 危険有害性の要約」を参照のこと。

1 3. 廃棄上の注意

本製品、端材、切断屑など、及び、梱包材を廃棄する場合、産業廃棄物に関する法律、都道府県または市町村の定める関連条例などに従って、適切な方法で処分すること。

1 4. 輸送上の注意

運搬時には、落下や転倒、荷崩れ等に注意すること。

1 5. 適用法令

- （1）労働安全衛生法
- （2）化学物質排出把握管理促進法

1 6. その他の情報

<参考資料等>

- （1）GHS 対応 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度
（平成 24 年 10 月 経済産業省 厚生労働省）
- （2）独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）ホームページ
- （3）職場の安全サイト ホームページ（厚生労働省）

※この安全データシートは、現時点で入手できる資料・情報に基づいて作成しています。

この安全データシートは、弊社製品の安全な取扱いを確保するための参考情報を提供するものであり、弊社製品の安全性を保証するものではありません。

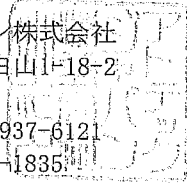
弊社製品の取扱いにあたっては、取扱い事業者自らの責任において、用途・用法に適した安全対策を講ずる必要があることをご理解のうえ、この安全データシートをご利用ください。

以上

製品安全データシート作成
改訂 2015年 3月13日-1

1. 製品及び会社情報

製品名 : クハム 500 溶液 25kg
会社名 : アトテック ジャパン株式会社
住所 : 神奈川県横浜市緑区白山1-18-2
担当部門 : GMF 事業部
TEL/FAX : 045-937-6120 / 045-937-6121
緊急連絡先 : 製造部 TEL 0564-62-1835



2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 急性毒性 (経口) ; 区分3
急性毒性 (経皮) ; 区分2
急性毒性 (吸入 : 粉塵、ミスト) ; 区分2
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 ; 区分1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ; 区分1
呼吸器感作性 ; 区分1
皮膚感作性 ; 区分1
生殖細胞変異原性 ; 区分1
発がん性 ; 区分1
生殖毒性 ; 区分2
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) ; 区分1 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) ; 区分1 (呼吸器)
水生環境有害性 (急性) ; 区分1
水生環境有害性 (長期間) ; 区分1

GHS ラベル要素 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと有毒

皮膚に接触すると生命に危険
吸入すると生命に危険
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれ
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復暴露による臓器(呼吸器)の障害
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き :

《予防》

使用前に取扱説明書/MSDSを入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

製品安全データシート

作成 2015年 3月13日-1
改訂

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
呼吸用保護具を着用すること。

《対応》

飲み込んだ場合：

直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合：

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーと石鹸で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合：

医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合：

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

呼吸に関する症状が出た場合：

医師に連絡すること。

眼に入った場合：

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

暴露又は暴露の懸念がある場合、又は気分が悪い時：

医師の診断/手当てを受けること。

漏出物を回収すること。

《保管》

施錠し、子供の手の届かない所で保管すること。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

《廃棄》

内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

成分	含有量 (%)	官報公示整理番号	CAS番号
無水クロム酸	37.5	1-284	1333-82-0

4. 応急措置

- 目に入った場合：結膜炎を起こし失明することがあるので、清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際眼球、まぶたの隅々まで水が行き渡るようまぶたを指でよく開いて洗眼する。
- 皮膚に付着した場合：腐食性があり、皮膚、鼻、のどの粘膜を強く腐食し、皮膚炎、潰瘍を起こすことがある。特に、傷口があると潰瘍をつくりやすい。汚染された衣類、靴など速やかに脱ぎ、触れた部分を多量の水で洗い流す。
- 吸入した場合：ミストを吸入すると鼻、のどの粘膜が侵されるので、うがいと鼻腔の水洗浄を行うこと。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消化剤：大量の水（泡、炭酸ガス、粉末は無効。本品は可燃物の燃焼を助長する）
- 特有の消火方法：火元の燃焼源を断ち、大量の水を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
- 消化を行う者の保護：消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

製品安全データシート作成 2015年 3月13日-1
改訂**6. 漏出時の措置**

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項:

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収、中和

: 飛散したものはできるだけ空容器に回収し、そのあとを還元剤(硫酸第一鉄等)の水溶液を散布し消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理し、多量の水を用いて洗い流す。皮膚に触れると薬傷を起こすので作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 火気厳禁とし、有機物、還元剤との混触を避ける。

注意事項: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する

安全取扱い注意事項:

吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件:

直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

技術的対策:

施錠して保管すること。

混触禁止物質:

有機物、還元剤の近くに保管しない。

8. 暴露防止措置管理濃度: 0.05mg/m³ (Crとして)許容濃度: OSHA PEL : air CL 0.1mg (CrO₃)/m³ACGIH TLV(s) : TWA 0.05mg (Cr)/m³日本産業衛生学会 : 0.1mg/m³ (酸化クロムとして)

設備対策: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具: 保護マスク

保護眼鏡 : 安全眼鏡

保護手袋 : ゴム手袋

保護衣 : ゴム前掛け, ゴム長靴

製品安全データシート作成 2015年 3月13日-1
改訂**9. 物理的及び化学的性質**

外観等：赤褐色	p H：<1.5 (20°C)	揮発性：なし
沸点：>100°C	蒸気圧：約23hPa (20°C)	溶解度：易溶 (水)
融点：知見なし	比重：1.315~1.355 (20°C)	
引火点：なし	発火点：なし	
爆発範囲：上限 なし、下限：なし		

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の取扱い条件においては安定。

危険有害反応可能性：強酸化剤であり有機物又は金属粉との混触は、加熱する可能性がある。水と反応せず溶解するのみ。潮解性が強いいため、液化して強い腐食性を示す。

避けるべき条件：有機物、還元剤

危険有害な分解生成成分：還元性物質と混合した場合は、自然発火する。強還元剤の場合は、爆発的に自然発火する。

11. 有害性情報**無水クロム酸の有害性情報**

急性毒性：腹腔 ラット LD50: 58400 ug/kg (RTECS)
静脈 ラット LD50: 9260 ug/kg (RTECS)
経口 マウス LD50: 127mg/kg (RTECS)
腹腔 マウス LD50: 14mg/kg (RTECS)
皮下 マウス LDLo: 20mg/kg (RTECS)
静脈 マウス LD50: 17100 ug/kg (RTECS)

皮膚腐食性・刺激性：

ATSDR (2000)のヒトの事故事例から「腕に広範囲に化学火傷と壊死を生じた」という記述から、無水クロム酸は皮膚腐食性を有すると考えられる。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：

EU-RAR No. 53 (2005)のヒトへの健康影響にて「水溶性Cr (VI) 化合物の偶然による眼暴露にて、角膜と結膜の炎症、よりひどいケースでは、角膜浸食と潰瘍化が報告された。

呼吸器感受性又は皮膚感受性：

呼吸器感受性：CERIハザードデータ集 97-18 (1998)、ヒトへの健康影響の記述「無水クロム酸のフュームの吸入による気管支喘息」に基づく。

皮膚感受性：既存分類情報に基づく、日本職業・環境アレルギー学会特設委員会はクロムを皮膚感受性がある物質、日本産業衛生学会はクロム(注)を皮膚感受性物質「第1群」に分類している。

生殖細胞変異原性：

体細胞in vivo変異原性試験(染色体異常試験)で陽性。

発がん性：NTP：K (ヒトに対して発がん性があると予想される)

IARC：グループ1 (ヒトに対して発がん性がある)

ACGIH：A1 (発がん性既知)

日本産業衛生学会：「第1群」人間に対して発がん性がある物質

特定標的臓器・全身毒性、反復暴露：

ヒトについては、「鼻中隔の穿孔、気管支喘息」(CERIハザードデータ集 97-18 (1998))等の記述、実験動物については、「鼻中隔の穿孔、気管及び気管支の炎症、扁平上皮化生」(CERIハザードデータ集 97-18 (1998))等の記述がある。

作成 2015年 3月13日-1
改訂

13. 廃棄上の注意

廃液等は関係法令に従って自社で処理をするか、産業廃棄物処理業者へ委託するなどの処理を行い、排水規制等に関する一般的な注意事項に従う。

使用済み容器及び残留物は、適正な廃棄所又は専門の焼却場にて処理を行う。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 1755	品名	: クロム酸 (水溶液)
国連分類	: 8	容器等級	: II
海洋汚染物質	: 該当		
注意事項	: 容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に 行う。		

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：劇物（無水クロム酸）

労働安全衛生法：特定化学物質 第2類物質
名称等を通知すべき有害物

No. 142（無水クロム酸）

名称等を表示すべき有害物（無水クロム酸）

作業環境評価基準、作業環境測定基準

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：特別管理産業廃棄物 特定有害産業廃棄物

水質汚濁防止法：（六価クロム）

P R T R法：特定第1種指定化学物質

No. 88（無水クロム酸）

船舶安全法：腐しよく性物質

航空法：腐食性物質

土壌汚染対策法：第二条 特定有害物質

海洋汚染防止法：該当

16. その他情報

記載内容は現時点で入手できる資料，データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途，用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取り扱いには十分注意してください。

製品安全データシート

作成 2015年 6月15日-1
改訂

1. 製品及び会社情報

2015
製品名 : クロム CR-840 A
会社名 : アトテック ジャパン株式会社
住所 : 神奈川県横浜市緑区白山1-18-2
担当部門 : GMF 事業部
TEL/FAX : 045-937-6120 / 045-937-6121
緊急連絡先 : 製造部 TEL 0564-62-1835

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 急性毒性 (経口) ; 区分4
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ; 区分2B
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) ; 区分1 (骨)

GHSラベル要素 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと有害
眼刺激
長期にわたる、又は反復暴露による臓器(骨)の障害

注意書き :

《予防》

粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

《対応》

飲み込んだ場合 :

気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。

眼に入った場合 :

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

《保管》

施錠し、子供の手の届かない所で保管すること。

《廃棄》

内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

成分	含有量(%)	官報公示整理番号	CAS番号
ケイフ化マグネシウム六水和物	15.7	1-329	18972-56-0

4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに大量の流水で15分以上洗い、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 直ちに大量の流水で薬品を洗い流す必要がある。必要であれば、医師の診断を受ける。
汚染された衣類は、洗濯してください。
吸入した場合 : 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移動する。身体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。必要であれば、医師の診断を受ける。

製品安全データシート作成 2015年 6月15日-1
改訂

飲み込んだ場合 : 意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師に連絡すること。口をすすぐ。
医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急処置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。皮膚、眼、衣服との接触を避ける。

5. 火災時の措置

消化剤 : 水
特有の消火方法 : 本品は不燃性であるが、周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
容器および周辺に散水して消火する。
消化を行う者の保護 : 消火作業の際には自給式呼吸保護具と全身覆いの保護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。
環境に対する注意事項:
漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:
飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は大量の水で洗い流す。
回収、中和 : 利用可能な情報はない
二次災害の防止策 : 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 取り扱いには、薬品内容を熟知した者のみが作業にあたる。
飲食物をそばに置かない。
接触、吸入防止のため、保護具を着用する。
衣服に付着した場合は、直ちに着替える。
取り扱い後は、手と顔を流水と石鹸を用いて洗浄する。
保管 : 蓋をしっかりと閉めて、直射日光、高温を避け、換気のよい所に保管する。
安全な容器包装材料 : PE

8. 暴露防止措置

管理濃度 : --
許容濃度 : ACGIH ; TWA : 2.5 mg/m³ (Fとして)
設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は、換気に気をつける。
取扱い場所近くにシャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具 : 保護マスク
手の保護具 : 保護手袋
眼の保護具 : 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観等 : 無色の液体	p H : -- (20℃)	
沸点 : 知見なし	蒸気圧 : 約23hPa	揮発性 : なし
融点 : 知見なし	比重 : 1.01-1.15 (20℃)	溶解度 : 易溶 (水)
引火点 : なし	発火点 : なし	
爆発範囲 : 上限 なし、下限 : なし		

製品安全データシート作成 2015年 6月15日-1
改訂

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性 : 情報なし。
避けるべき条件 : 高温、直射日光
危険有害な分解生成物 : ハロゲン化合物

11. 有害性情報ケイフ化マグネシウム六水和物の有害性情報

急性毒性 : ラットのデータはないが、げっ歯類のモルモットを用いた経口投与試験のLD50値200mg/kg (RTECS, 1997)に基づき、区分3とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 :

ヒト眼を刺激するとの記述(SITTIG, 2002; HSFS, 2001)、また、ACGIH-TLV(2005)ではフッ化物には眼刺激性があるとしていることから、軽度の眼刺激性があると考え、区分2Bとした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) :

Priority 1文書のACGIH-TLV(2005)ではフッ化物には気道刺激性があるとしており、区分3(気道刺激性)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) :

Priority 1文書のACGIH-TLV(2005)ではフッ化物には骨への影響(フッ素症)があるとしており、区分1(骨)とした。

12. 環境影響情報

分解性・蓄積性 : 知見なし。

魚毒性 : 高濃度のものは水生生物に対し影響を及ぼすこともある。

13. 廃棄上の注意

廃液等は関係法令に従って自社で処理をするか、産業廃棄物処理業者へ委託するなどの処理を行い、排水規制等に関する一般的な注意事項に従う。

使用済み容器及び残留物は、適正な廃棄所又は専門の焼却場にて処理を行う。

14. 輸送上の注意

国連番号 : -- 品名 : --

国連分類 : -- 容器等級 : --

海洋汚染物質 : --

注意事項 : 容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 劇物(ケイフ化マグネシウム六水和物)

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物 No. 487(ケイフ化マグネシウム六水和物)

水質汚濁防止法 : フッ素、pH等の項目

土壌汚染対策法 : フッ素

16. その他情報

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性があるため、取り扱いには十分注意してください。

化学物質等安全データシート

(MSDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 ; エコクロム BK
 製品コード ; 25004
 供給者 ; メルテックス株式会社
 住所 ; 東京都中央区東日本橋 2-28-5(協和ビル)
 電話番号 ; 03-3865-0175
 ファックス番号 ; 03-3865-0174

2. 組成、成分情報*1)

単一/混合の区分 ; 混合物

化学特性 ; 酸化性物質、急性毒性物質、特定有害性(感作性、ガン原性、環境有害性)、腐食刺激性、

危険有害成分

化学名	含有量(wt%)	官報公示整理番号	CAS番号
無水クロム酸	95	1-284	1333-82-0
ケイフッ化ナトリウム	0.05	1-334	16893-85-9

その他の成分

化学名	含有量(wt%)
安定剤	1<<10

*1) (社)日本化学工業協会の指針、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 指定化学物質、及び EU理事会指令 67/548/EEC における危険な物質を基に評価。

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

強酸性で重度の薬傷を起こす恐れがある。
 吸入や皮膚接触により、感作性の影響を与える恐れがある。
 飲み込むと、又は吸入すると毒性がある。
 発ガン性の影響を与える恐れがある。
 水生生物に対して有害性があり、長期にわたって影響を及ぼすことがある。
 不燃性だが、可燃性物質と接触して火災を起こす恐れがある。

特定の危険有害性

皮膚の発疹、潰瘍、気管支炎、肺炎、肺水腫、鼻中隔穿孔、胃腸障害、肝障害、腎障害を起こす恐れがある。

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに患者を新鮮な空気のある場所に移し、安静、保温に努め、すみやかに医師の手当を受ける。
 呼吸が停止又は殆ど停止状態の場合は衣類をゆるめ、人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を脱がせる。多量の水がシャワーで皮膚を洗い流す。
 念のため医師の診察を受ける。

眼に入った場合

1秒でも速く、清浄な流水で最低 15 分間洗い続ける。無理なく外せるならコンタクトレンズは外す。眼瞼をつま

み上げるようにして結膜円蓋をよく洗う。

中和してはいけない。

必ず眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに口の中を水でよく洗わせた後多量の水を飲ませ、すみやかに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

棒状の水、霧状の水、泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂が有効である。

特定の危険有害性

加熱分解により、酸素、金属ヒュームが発生する恐れがある。

特定の消火方法

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する

消火作業の際には必ず保護具を着用する。

周辺火災において製品が移動可能な場合は、速やかに火災の影響が及ばない場所に移す。又、移動できない場合は周囲の設備や容器に散水冷却して、容器の熱破損、着火の防止をする。

製品及び製品を含む消火液が漏出・飛散しないように必要な措置を講ずる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

漏洩場所から関係者以外の人を退避させる。

換気をよくする。

大量に漏洩又は災害の発生する恐れのある場合は直ちに関係箇所に通報し、事故防止に努める。

気分が悪い場合は直ちに医師の診断を受ける。

環境に対する注意事項

漏出物を環境に放出しない。

大量に漏洩した場合は下水、排水溝、低地への流出を防止する。

除去方法

漏れた又はこぼれた製品の処理は保護具を着用する。

漏れた又はこぼれた製品を密閉式(又はふた付き)容器に出来る限り回収し、次に残留液(又は残留物)を乾燥砂などの不活性吸収物質に吸収させて安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 ;

保護具を着用する

可燃性材料の接触もしくは混合、分解を促す物品との接触又は過熱、衝撃もしくは摩擦を避ける。

注意事項 ;

局部排気或いは全体換気を行う。

少量ずつ取り扱い、漏れ・あふれ・飛散、粉塵の発生を防止する。

取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行う。

安全取扱い注意事項 ;

作業場への関係者以外の立ち入りを禁止する。

使用済みの空容器は必ず洗浄し、洗浄液は排水等に流出させない。

水を注いではならない。

溶解するときには必ず水の中にゆっくり加える。

保 管**技術的対策 ;**

好ましくは二段重ねを限度とし、転倒及び落下防止をする。
 使用残は容器に破損、腐食、さけめ等がないことを確認して保管する。
 法規に準拠して、保管する。

保管条件 ;

直射日光を避け、適切な温度(好ましくは5~35℃)及び通気性の良い(又は換気可能な)屋内貯蔵所で保管する。

混触禁止物質 ;

アルカリ性のもの、還元剤、有機物及び他の危険性を有するものと離して(好ましくは1m以上)保管する。
 可燃性材料から遠ざけて保管する。
 法規に準拠して、保管する。

容器包装材料(推奨) ; 当製品と同一の容器包装材料及び表示。

8. 暴露防止及び保護措置**設 備 対 策**

局所排気装置及び排気処理装置を設置する。
 全体換気装置を設置する。
 取扱場所付近に洗眼設備及びうがい設備を設置する。

管 理 濃 度

無水クロム酸.....0.05mg/m³(クロムとして)

許 容 濃 度

暴露限界値 ; 無水クロム酸.....許容濃度 0.05mg/m³(クロムとして; 日本産業衛生学会 1999年)

無水クロム酸.....TLV-TWA 0.05mg/m³(クロムとして; ACGIH 1998年)

許 容 濃 度

就業する労働者の人数と同数以上を備え、常に有効かつ清潔に保持する。
 保護帽、呼吸用保護具、顔面保護面、不浸透性保護衣、保護手袋、ゴム長靴を着用する。

* 許容濃度は各有害成分の単一物質に対するもので、それぞれ労働安全衛生法に基づく作業環境評価基準、暴露限界値が日本産業衛生学会による勧告、ACGIH勧告によるものである。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 ; 結晶性粉末

色 ; 赤色~褐色

臭 い ; 無臭

pH ; 未測定

沸 点 ; 未測定

引 火 点 ; 適応外

爆 発 性 ; 通常の取り扱い条件下では爆発しない。

密 度 ; 1 g/cm³以上(見かけ密度; 当社測定値)

水に対する溶解性 ; 水に可溶である。

10. 安定性及び反応性**安 定 性**

通常の取り扱い条件下で安定である。

特定条件下で生じる危険な反応

可燃物との接触もしくは摩擦により、分解が促される恐れがある。
 アルカリ性物質と激しく反応する。

危険有害な分解生成物

通常の取り扱い条件下で危険有害な分解物なし。

11. 有害性情報

急性毒性

無水クロム酸…… LD₅₀(経口-ラット) 80mg/kg³⁾
ケイフ化ナトリウム…… LD₅₀(経口-ラット) 125mg/kg⁸⁾

局所効果

眼、呼吸器系に強い腐食性があり、皮膚に腐食性がある。
珪フ化ナトリウムは発赤、皮膚の灼熱感、発疹があるとされている。
無水クロム酸は火傷、びらん、壊死があるとされている。

感作性

無水クロム酸は人間に対して明らかに感作性のある物質に分類されている。(日本産業衛生学会 皮膚 第1群)
無水クロム酸は人間に対して恐らく感作性があると考えられる物質に分類されている。(日本産業衛生学会 気道 第2群)

慢性毒性

無水クロム酸は皮膚の発赤、腫脹、発疹、潰瘍、色素の異常、鼻中隔穿孔があるとされている。¹⁾

発ガン性

無水クロム酸は人間に対して明らかに発ガン性のある物質に分類されている。(日本産業衛生学会 第1群物質、国際ガン研究機関 グループ1)

12. 環境影響情報

残留性/分解性 ; 無水クロム酸は化審法に基づく試験方法による結果で、濃縮性がない、或いは低いと判断される物質。

生態毒性 ; 無水クロム酸……ヒダカ ; LC₅₀ 70 mg/L・48h

COD値 ; 0mg/L(当社測定値)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

取り扱い及び保管上の注意の項に留意し、国内の法令並びに条例を遵守し処分する。
1wt%以下の水溶液とし、他の廃液との混合を避け、廃水処理をする。
専門業者に廃棄処分を委託することが好ましい。

製品が付着している容器・包装

製品が付着している容器・包装はよく洗浄し、リサイクル又は廃棄処分する。
洗浄に使用した液は取り扱い及び保管上の注意の項に留意し、国内の法令並びに条例を遵守し処分する。

14. 輸送上の注意

注意事項

容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。
転倒、荷崩れ、転落、破損等がないように確実に積載する。
容器は収納口を上方に向けて積載する。
取扱い及び保管上の注意の項を留意する。
道路交通法等の輸送に関する法規を遵守する。

国際法規(国連分類・番号)

IMDG Code *2) ; クラス 5.1(酸化性物質)、国連番号 1463、容器等級;2
IATA-DGR *3) ; クラス 5.1(酸化性物質)、国連番号 1463、容器等級;2

*2) 国際海上危険物規則(International Maritime Dangerous Goods Code)

*3) 国際航空運送協会危険物規則(International Air Transport Association - Dangerous Goods Regulations)

15. 適用法令

労働安全衛生法(表示対象物質、通知対象物質、健康診断対象業務、特化則(第2類))、毒物及び劇物取締法(劇物)、消防法(危険物第1類)、船舶安全法 危規則(酸化性物質)、航空法(酸化性物質)、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(特別管理産業廃棄物)、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(第1種指定化学物質)

16. その他の情報

引用文献

- 1) 関係法令類
- 2) 化学防災指針集成/日本化学会編/丸善株
- 3) 「化学物質安全性データブック」/化学物質安全情報研究会 編
- 4) 産業衛生化学雑誌/社)日本産業衛生学会
- 5) 国際化学物質安全性カード(ICSC)コンパイラズガイド日本語版/国立衛生試験所化学物質情報部 監修/化学工業日報社
- 6) EU 危険な物質の分類等に関する理事会指令67/548/EECの付属書II、III、IV、IX/社)日本化学物質安全情報センター
- 7) EU 危険な物質リスト(第4版)/社)日本化学物質安全情報センター
- 8) DANGEROUS PROPERTIES of INDUSTRIAL MATERIALS/N. Irving Sax
- 9) THE MERKINDEX *12TH EDITION/MERCK RESEARCH Labs.
- 10) HANDBOOK OF ENVIRONMENTAL DATA ON ORGANIC CHEMICALS 3RD EDITION/VERCHUEREN/WILEY
- 11) 化学物質ハザードデータ集/財)化学品検査協会編/(第一法規)
- 12) 化学物質毒性ハンドブック(I~VI)/G.D.Clayton,F.E.Clayton 編/丸善 WILEY
- 13) 産業中毒便覧(増補版)/後藤 稔、池波 正之、原 一郎編/医歯薬出版
- 14) 化学物質管理促進法対象物質全データ/化学工業日報社
- 15) 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ/化学工業日報社

本製品は金属材料等の表面処理を目的とした工業用製品です。このMSDSは現段階で知り得る情報を基に作成しています。記載データや評価は必ずしも安全・衛生を十分に保証するものではありません。お取扱いの際は取扱い者の責任において安全・衛生の対策を設定して頂きますようお願い致します。

記載内容の問い合わせ先：メルテックス株式会社 品質保証部

電話番号 048-665-2050 FAX番号 048-665-2218

作成日 : 2000/01/17
 改訂日 : 2009/07/01

製品安全データシート
 (混合物用)

【 1. 化学物質等及び会社情報】

製品名 1000 NC 500 ファイアレット
 会社名 株式会社セイコーアドバンス
 住所 : 〒 349-0131 埼玉県蓮田市根金 1575
 担当部門 : 技術開発部 担当者 : 菅野智徳
 電話番号 : 048(766)4516 FAX 番号 : 048(766)5104
 緊急連絡先 : 担当部門に同じ 電話番号 : 担当部門に同じ

【 2. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区分 : 混合物
 一般名 : スクリーンインキ類

成分及び含有量

化学名	対象法	含有量 %	化学式	官法公示No.	CAS No.
エチルグリセロールアセテート	劣	8 ~ 18	C6H14O2	2-407	111-76-2
シロキサン	劣	5% 未満	C6H10O	3-2376	108-94-1
トリメチルベンゼン (混合物)	劣	5% 未満	C9H12	3-7	25551-13-7
酸化チタン	劣	5% 未満	O2Ti		13463-67-7
ポリビニル樹脂		32 ~ 60	非公開		

毒劇法の該当 : 非該当

*対象法 劣 = 労働安全衛生法通知対象物質
 特 = PRTR 法特定第一種指定化学物質
 I = PRTR 法第一種指定化学物質
 II = PRTR 法第二種指定化学物質

【 3. 危険有害性の要約】

最重要危険有害性

有害性 : 有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
 物理的及び化学的危険性 : 燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。流動、攪拌によって静電気を生じ、着火爆発の恐れがある。
 分類の名称 (分類基準は日本方式) : 引火性液体、急性毒性物質

【 4. 応急措置】

吸入した場合 : 直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ新鮮な空気のある場所に移す。呼吸が困難な場合又は呼吸が停止している場合は、直ちに人工呼吸を行い、医師の手当を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部を石鹼水で洗浄し、大量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合には医師の手当を受ける。
 目に入った場合 : 直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
 飲み込んだ場合 : 吐き出させると気管に入ると危険が増す。直ちに医師の手当てを受ける。

【 5. 火災時の措置】

消火剤 : 粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液
 使ってはならない消火剤 : 水
 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。
 移動不可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却する。
 指定の消火剤を用いて消火する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しない。

【 6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項：風下の人を退避させる。漏出した場所の周辺にはロープなどして立入りを禁止する。付近の着火源となるものは速やかに取り除く。
作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しない。
屋内の場合には処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項：濃厚な洗浄廃液が河川に排出しないように注意する。

除去方法：漏出した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、密閉可能な容器にできるだけ回収し、そのあとを多量の水で洗い流す。その場合中性洗剤等の分散剤を用いて洗い流す。

【 7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い：
技術的対策 静電気対策のために装置、機器等の設置を確実にし、作業衣作業靴は導電性のものを用いる等の対策を行う。
電気機器類は防爆型のもの、工具は火花防止型のものを用いる。

安全取扱い注意事項 取扱い場所は火気厳禁とし、作業場は換気を十分に行う。
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないよう適切な保護具を着用する。
取扱いの都度容器を密栓する。蒸気の発散を出来るだけ抑え、作業環境を管理濃度以下に保つように努める。

保管：
適切な保管条件 容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵する。ボイラー等熱源付近や可燃性物の付近には置かない。
酸化性物質、有機過酸化物等と同一場所に置かない。
消防法の基準にもとづき危険物倉庫に保管する。

【 8. 暴露防止及び保護措置】

設備対策：屋内作業時は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

保護具：有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、耐油性保護手袋、保護衣、保護長靴等を使用する。

適切な衛生対策：マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。

【 9. 物質的及び化学的性質】

形状：ペースト	色：赤	臭い：溶剤臭
PH：該当しない	沸点(°C)：154 ~ 180	引火点(°C)：60.0 ~ 60.3
比重：1.00 ~ 1.83	水への溶解性：難溶	
有機溶剤曝露限界(%)：下限	.80	上限 11.00

【 10. 安全性及び反応性】

安定性：常温以下では安定

避けるべき条件：加熱により容器が爆発する。

避けるべき材料：第一類、第六類の危険物及び高圧ガスとの混合は避ける。

危険有害な分解生成物：燃焼により一酸化炭素等の有害ガスが発生する

【 11. 有害性情報】

エチルケトアルコールノブチルエーテル

急性毒性 : 8) 経口 LD50 1746.00 MG/KG

シロキサン

急性毒性 : 8) 経口 LD50 1544.00 MG/KG

ジメチルベンゼン (混合物)

急性毒性 : 8) 経口 LD50 8970.00 MG/KG

酸化チタン

※上記急性毒性および局所効果等の印字以外の情報は得られていない。

【 12. 環境影響情報】

※上記印字以外の情報は得られていない。

【 13. 廃棄上の注意】

ドラム缶に入れ、横転しても内容物が外部へ流出しないよう密栓する。

焼却する場合は産業廃棄物処理基準に従って焼却する。

外部委託の場合は廃由(引火性)であることを明記し、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

【 14. 輸送上の注意】

注意事項 : 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み荷くずれの防止を確実に行う。容器を積み重ねる場合には高さ3m以下とする。

第一類、第六類の危険物及び高圧ガス(一部を除く)とは混載できない。

消防法の危険等級Ⅲに適合する運搬容器に収納して運搬する。

指定数量以上の製品を車両で運搬する場合は、当該車両に総務省令で定められた標識を掲げ適正な消火器を備える。

国連分類 : クラス 3.3 (高引火点引火性液体)

国連番号 : 1210

【 15. 適用法令】

消防法 (指定可燃物可燃性液体類)

危険物船舶輸送及び貯蔵規制 (引火性液体類 引火点が摂氏23度以上のもの)

労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤 通知対象物質)

道路交通法 (長大トンネル、水底トンネル、高速道路等での規制)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【 16. その他の情報】

- 参考資料
- 1) 国立環境研究所データベース [HTTP://W-CHEMDB.NIES.GO.JP/](http://w-chemdb.nies.go.jp/)
 - 2) 中央労働災害防止協会データベース [HTTP://WWW.JAISH.GR.JP/](http://www.jaish.gr.jp/)
 - 3) 原材料のMSDS
 - 4) ICSC CARD [HTTP://WWW.NIHS.GO.JP/ICSC/](http://www.nihs.go.jp/icsc/)
 - 5) 印刷インキ工業連合会：製品安全 データシート 作成資料 (改訂第2版)

問合せ先

担当部門 当社技術開発部
電話番号 048-766-4516 FAX 番号 048-766-5104

※「製品安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。

本データシートは、安全や品質の保証書ではありません。